
義父の受難。～不器用な愛～

梅花空木

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

義父の受難。〜不器用な愛〜

【Nコード】

N00690

【作者名】

梅花空木

【あらすじ】

100年前：バスカビル家の別棟にアリスという少女がいた。彼女の義父であり、バスカビル家の当主であるグレンと彼の親友ジャック。3人の日常は…。。

大切に大切に、だからどこにも行かないように自由を奪ったはずなのに…。

いつもの階段を登る。登りきらないうちに、あどけない笑顔でアリスが顔を出した。

「ジャック!? … あっ … なんだ … グレンか、残念。」そう言つと、アリスは明らかにしょんぼりした様子で、またいつもの様にチェシヤを抱き、出窓から空を眺める。

アリスの『期待外れ』という態度に、なんとなく焦りの様なものを感じながらも、どうしていいのかわからず、立ち尽くす。

（こういう時ジャックならどうするのだろう?）しかし、ジャックなら歓迎されるはずなので、考えるだけ無駄と自らの考えに無意識に首を振る。

「ねえ、チェシヤ? ジャックは今度いつ来てくれるかしら? 今度は何をして遊べると思う?」アリスがチェシヤに問う。しかし、チェシヤは面白くないのか、ふいつと横を向いてしまった。

「そうだ! グレンならあの人が来る日がわかるでしょう? 次はいつ来るの?」キラキラと目を輝かせて駆け寄ってくるアリス。

（私が来てやつてるのに、アイツの話ばかり…。）正直イライラしたが、理性で抑える。

「… お前にとつて、ジャックとはどんな存在なんだ?」あんな軟派バカのどこがそんなにいいのかが、わからない。自然と棘のある言い方になった。

「あの人だね、お日様みたいに私に光を届けてくれるの。ジャックに会つて、世界がこんなに綺麗で広いつて知つたのよ…。」目を瞑り、大事な宝物の話をする様に話すアリス。

「一言だけ言つておくが、アイツだけはやめておけ…。」アリスを

取られるわけにいかない。

「やめておけてどういうこと？ ジャックと仲良くしちゃいけないの……？」アリスの顔がみるみる歪む。

「そうだ。あいつは、私にも『美人』だの、『可愛い』だのと軽口ばかり言う不真面目でだらしない奴なんだぞ！！」ジャックは親友だが、アリスのこととは話が別だ。

「ひつどーい、グレンってば！ 私のことそんな風に思ってたの？ 出逢った頃『お前は失いたくない存在』とか言ってたくせにー。」いつ来たのかジャックが腰に手を当ててグレンの真後ろに立っていた。……ジャック！？ あ、あれは……勢いと言うか、なんというかだ……。驚いて、ごによごによと言いつつ訳の様なことを口にするが、自分でもよくわからなくなった。

「ジャック！ 来てくれたのね！」ハニカミながら、アリスが言う。自分の時とは全然違うアリスの態度。ハグをしようとするふたりの間に割り込む。

「ん？ ……何、グレンも混ざりたいの？ それともヤキモチ……？」ニヤニヤとするジャック。

「……んなわけあるか！ いちいちベタベタするなということだ！」 星を言い当てられ、赤面する。

「グレンは、いい加減帰ってちょうだいよ！」アリスが睨んでくる。どうやら自分は『邪魔者』らしい。

「……」。何も言えず、がつくりと肩を落とす。

「コラコラ、アリス？ グレンはね……意外と繊細なんだから、そんなはつきり言ったら可哀想だよ？」憐れみの様な笑みを浮かべてアリスを諭す様に小声で言うジャック。

「あつ……そうよね、ごめんなさい。グレン。」アリスが言う。

（ジャックに言われることには、こんなにも素直なのに。）

「……『意外と』が余計だ……。」ふたりのやり取りを聞きながらジャックには敵わないのか、そんなことを考え、自分が惨めに思えた。

大事に大事にしたいのに、キミは私の手などいらないという。自由を奪ってもなお光を求めるキミに私は何ができるのだろう…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0069o/>

義父の受難。～不器用な愛～

2010年10月8日22時49分発行